議員活動自己検証シート（公約の取組）（対象期間：2023年−2026年）

議員名	金井 ひろし	会派名　フォーラム目黒（立憲民主・無所属の会） 期数（議員歴）　2期（8年）



検証項目（10項目）

【検証値の捉え方】

議員活動・取組内容については……

「ほぼ満足している」=“〇” 1.0

「さらに努力する余地があると思う」=“△” 0.5

「思ったような取組ができていない」=“▼” 0"

所属委員会等

議会運営委員会　副委員長	R8
生活福祉委員会	〃
企画総務委員会　副委員長	R7
文教・子ども委員会　委員長	R6
都市環境委員会	R5
各常任委員会	前期

議会基本条例の目的は“議会が自らの役割・原則・住民参加の仕組みを明確にし、開かれた議会を制度として保証すること”全国で6割の自治体で制定されている。目黒区では制定されていません。23区では荒川区、板橋区で制定。

金井ひろしレポート No.31
〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL：080-5195-2909
編集発行人：目黒区議会議員　金井ひろし

【三次市】 公約を検証する背景（根拠）	議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は、市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」
【三次市】 検証の対象／分野	議会基本条例第4条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
【三次市】 検証方法	「公約」について、成果如何に捉われず、その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）

【三次市】 議会基本条例第4条（議員活動の原則）

❶ 選挙によって選ばれた**市民の代表であることを自覚し**、市政の課題全般について**市民の思いを的確に把握し**、市民全体の福祉の向上をめざすこと。**【情報共有】【住民参画】**

❷ 議会が言論の場であること、及び合議制機関であることを認識し、**議員相互間の自由な討議を重んじる**こと。**【機能強化】**

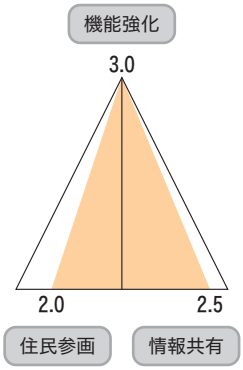
❸ 日常の**調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努める**こと。**【機能強化】**

❹ 地方自治の本旨にのっとり、**政策、条例、意見書等の議案を提出する努力をする**こと。**【機能強化】**

❺ **市政の課題に関する論点を市民に明らかにする**ため，一般質問を一問一答方式により行うこと。**【機能強化】【情報共有】**

（公約1）

障害児・者、医療的ケアが必要な人たち、誰もが暮らしやすいめぐろをつくる



		検証
住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	○
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	▼
情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認、聞取り、先進事例等の調査研究活動	○
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	○
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△
機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○
	(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	○
	(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△

主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由　等
注）検証に繋がる活動等、成果等（事業の見直し等）を記入すること。

(1)〜(3)：当事者の方と関わり、保護者からの聞き取り、支援者との連携を図り、取り組んできた。この姿勢をこれからも崩さず、継続し更なる発展につなげていく。一方で、(3) 地域活動、まちづくりへの参加・実践については、まだまだ不足していることが改めて理解できた。障害・医ケア理解へむけて欠かせない取組であることから、今後さらに強化していく。

(4)〜(6)：(4) 現場で働いていることから、現状把握は出来ているものと思われるが、調査研究活動はもう少し必要かもしれません。(5) については、代表質問、一般質問、予算・決算特別委員会と議会では取り上げていることから今後も継続していく。(6) 広報定期的に発行し、タウンミーティングも1定例会ごとに開催し共有を図っているところである。今後も継続していくが、SNSでの発信力が課題ととらえている。

(7)〜(10)：(7) 情報共有蘭にも記載したが、4定例会の中で最も議会で取り上げているところである。(8) 議員間での共有は積極的に行っている、会派内でも積極的に取り上げて理解も進んでいるところである。(9) こちらの各種計画の分析には非常に課題ととらえている、今後改定においては行政とも連携を図り、共に生きる目黒を作っていく。(10) 相談支援専門員の資格は取ったものの、それをまだ生かせていない、介護福祉士としての研修会もなかなか出られず、インクルーシブ教育の勉強会は積極的に参加してきた。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	0.5	0.5	7.5

他の公約

7つの公約を掲げて2期目をスタートしました。検証蘭は3つなので、他の公約はここに記載、進捗をお知らせいたします。

ジェンダー平等、LGBTQなど多様性がいきる地域社会をつくる→意見書採択、議会で取り上げる等で継続

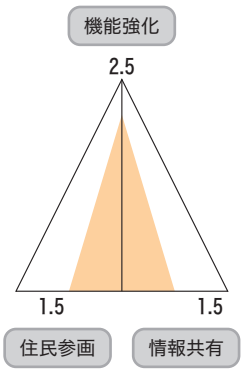
子どもを安心してあずけることができ、学校給食の無償化など子育てしやすいめぐろをつくる→2023年10月〜公約達成

生活支援の充実、インボイスに反対、被災者支援、安心して暮らせるめぐろをつくる→意見書採択、議会で取り上げる等で継続

戦争反対、憲法第9条を守る、原発ゼロへ→意見書採択、議会で取り上げる、ペロブスカイト案を提案等で継続

(公約2)

介護保険の危機、利用者と介護現場をまもる

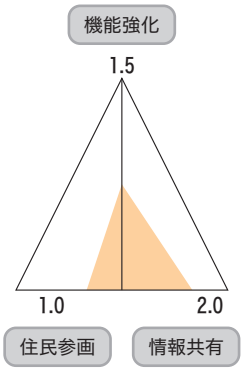


		検証	主な活動・取組内容、または、取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	△	(1)〜(3) 活動していないわけではないが、上記の公約と比較すると、まだまだ足りないところは検証の「△」が並ぶことで明らかである。公約に掲げた以上は、今後少しずつでも取り組んでいくことが重要である。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	△	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認、聞取り、先進事例等の調査研究活動	△	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動ですが、どれもが不足していることは認識している。今後もう一段意識を上げて取り組んでいく。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	○	(7) 議会について、介護報酬改定（切り下げ）においてはすぐに会派として意見書を提出し、議員提案で提出。本会議で採択されたことは本公約で唯一「○」をつけていいと思われる。また、この意見書について、地方議会ではかなり早い提出となったことも評価ポイントの一つです。 (8)〜(10) 項目ごとに意識して今後の活動にいかしていく。
	(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	△	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	5.5

(公約3)

区議会を改革、もっと開かれた議会をつくる

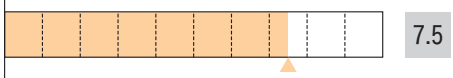


		検証	主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	○	(1) 対話を受けて、議会改革に資する意見もありました、ニーズの把握は出来ている。(2)(3)は区議会の中のことなので、検証しづらい項目です。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	▼	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など、まちづくりへの参加・実践	▼	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認、聞取り、先進事例等の調査研究活動	○	(4)については他の議会を調査することで、先進的な取組をしていることもあれば、遅れていることや、なかなか進まないこともあることが理解できた。(5) 議会内のことなので本会議や委員会での活動はなし。(6) については、タウンミーティングや朝の駅頭において報告は随時行っている。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	▼	
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS、チラシ・広報誌等による情報発信	△	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	▼	(7)も区議会の中のことなので、検証しづらい項目です。(8)については他の会派とも積極的に交渉し、会派内でも意見を集約したり、提案をまとめたり進めてきた。(9) も区議会の中のことなので、検証しづらい項目です。(10) 研修会はありませんが、視察では先行している議会を勉強し目黒区議会でも生かしているところである。
	(8) 議員間討論への積極的な参加、会派内での情報共有の徹底	○	
	(9) 各種計画書の分析、条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	○	

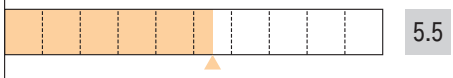
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	1.0	4.5

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

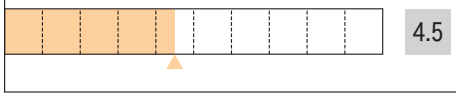
障害児・者、医療的ケアが必要な人たち、誰もが暮らしやすいめぐろをつくる



介護保険の危機、利用者と介護現場をまもる



区議会を改革、もっと開かれた議会をつくる



活動の一コマ

不登校状態にある児童・生徒が社会とつながり、自立を目指していく新たな学びの場「みらい学園」（大田区）の会派視察



課題の抽出・次年度の目標設定

「誰もが暮らしやすい」目的に沿って今後ともしっかりと取り組んでいく。課題としてはもっと周囲へに理解してもらえるように努め、支援者をもっと増やしていくことや、真のインクルーシブ教育の理解へ向けて引き続きしっかりと取り組んでいく。

3福祉と言われる、児童福祉、障害福祉、高齢福祉の中でもっとも弱い分野であることは課題として捉えている。介護福祉士の資格をもって働いているが、障害児・者の支援で今後はしっかりと特定の分野に偏らずに取り組んでいき、周囲への理解も深められるように取り組んでいく。

開かれた議会を目指し、私個人だけの思い・考えではなく会派の仲間とともに、議会へ提案してきた。本会議一般・代表質問資料の傍聴者への配布や、常任委員会のライブ配信も検討中である。

無断複製・転用はご遠慮ください。（許可済）

協力：三次市議会　議会運営委員会